

岐阜県立可児工業高等学校

学校長 林 千尋
学校住所 可児市中恵土2358の1 電話 0574-62-1185

- 1 会議の名称** 平成25年度 可児工業高等学校学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成**

委員	石原 里佳	元PTA役員、会社役員
	高橋 知久	可児市中恵土自治会連合会長
	中野 祥子	可児市青少年育成アドバイザー
	藤田 幸夫	(株)甲山製作所社長
	渡邊 治	可児市下恵土自治会連合会長
		(委員名五十音順)
学校側	林 千尋	校長
	井戸 好彦	教頭
	藤井 健二	事務長
	土田 公成	教諭 (教務部長)
	伏見 圭太	教諭 (生徒指導部長)
	水野 茂之	教諭 (進路指導部長)
	酒井 眞二	教諭 (工業部長)
	兼松 竹司	教諭 (部活動推進部長)
- 3 会議の目的** 岐阜県立可児工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成25年度の教育方針・重点及び学校課題について取り組み状況を説明し、それについての幅広い意見・提言を受け、本校教育の改善・充実に資するとともに、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成26年2月10日(月) 13:20~16:40 可児市文化創造センター
評議員3名(2名欠席)と学校側7名が出席
- 5 会議の概要**
 - 平成25年度「課題研究発表会」参観
可児市文化創造センターにおいて開催した「課題研究発表会」を学習成果の一部として各科代表の発表を参観して頂いた。
 - 学校長挨拶
本年度は創立50周年記念として計画されていた多くの事業が、同窓会やPTA・多くの企業様からのご支援で計画通り遂行することができました。11月の式典や可児工祭では、生徒達の生き生きとした姿が見られ、来校された方々からも高い評価を聞くことができました。また、依然として厳しい社会情勢が続く中ですが本年度も全員の進路が決定しました。
現在学校では教育活動に関わる経費について検討されています。今までは各校において特徴ある取り組みや職員の研修に対しPTAからの援助を頂き運営してきましたが、来年度からそのほとんどを県の費用で運営していくことになり、学校評議員の皆様をはじめ多くの方々から、広くご意見を頂ければと考えています。
 - 学校の近況と課題の説明
全体説明：第1回評議員会で頂いた意見について、対応処理表を参考に取り組み状況を説明し、継続的な活動課題を確認した。

教 務 部：本年度の1年生よりスタートした進学系カリキュラムは、来年度より教科や時間数で特徴のある展開が始まります。9月には昨年から続けているオーストラリアとのスカイプを利用した授業交流が縁で、クリーブランド高校との姉妹提携を結びました。今年の11月には約20名の高校生が可児市や本校を訪れ交流を深める計画です。

文部科学省研究指定事業をスタートさせました。「専門的職業人に必要な資質・能力の評価」の主題で、幅広い学力の育成と学力の質の保証を目指しています。

生徒指導部：全体的には落ち着いた学校生活を送っているが、いじめや問題行動で指導することもあった。遅刻防止指導を柱に、専門高校として基本的生活習慣の指導を重点に学校一丸となって推進しているが、今後はその質にも言及した指導が必要だと考えている。最近、交通マナーについての苦情が増えてきた。重大な事故は発生していないが、「生徒指導だより」の発行や危険箇所での指導などで安全な登下校と社会人としてのマナーを身につけさせたい。

進路指導部：今年も3年生全員の進路を決定することができたが、就職試験は年々厳しくなっている。社会に受け入れられ活躍できる生徒の育成に、職員の共通理解と実践でキャリア教育を推進していきたい。進学系カリキュラムの充実を図り、生徒の幅広い進学希望の実現を目指したい。

工 業 部：創立50周年記念の可児工祭では、展示発表内容の充実とともに生徒達が全面に立った運営や案内で、コミュニケーション能力の実践学習の場と位置づけた。また、本年度も各種イベントなどに積極的に参加し地域との交流を図った。

(4) 協議 テーマ「課題研究発表会の感想と学校への提言」

意見 1 発表会は昨年と比較し内容・発表技術とも向上していたが、専門性の高い研究は幅広い層の聴衆を意識して、わかりやすい用語を使うなど工夫も期待したい。

意見 2 発表内容に失敗の繰り返しで紹介されていた。その経験と改善の姿勢が社会では重要で今後の力に繋がると思う。今後も失敗を大切にせる教育活動を展開して欲しい。

意見 3 研究内容に地元の建造物や歴史が取り入れられていた。地域に興味関心を持って活動してくれることは嬉しいことである。

意見 4 交通安全については地域でも大きな課題で、交通マナーは高学年になるにつれて低下しているように思える。学校だけでなく社会全体で考える必要があると考えている。高校生には社会の一員として自覚を持って欲しい。

意見 5 地域の学校として今後も地域の自治会行事には是非参加して欲しい。今年から場内アナウンスも担当して貰って好評を得ている。

意見 6 朝の交通安全指導で街頭に立っているが、他校と比較しても挨拶をしてくれる生徒が多い。今後も挨拶の大切さを指導して欲しい。

6 会議のまとめ

学校評議員の方々には、「課題研究発表会」を参観して頂くことで、ものづくりを通し社会から期待される人材育成を目指した教育活動に理解を深めて頂いた。2回の評議員会では、外から見た本校の印象や学校に対する期待など貴重なご意見を頂くとともに、将来に向けての指針を示して頂いた。地域からの期待も大きく、地域の力を借りながらの生徒育成の充実と、交通事故防止や安全で安心できる学校運営は今後も重要な課題と位置づけ推進していきたい。